



独立行政法人

大学改革支援・学位授与機構

National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education

# 機構ニュース

Vol.202 2020 March

## 今月の記事

### Top News

- 米国のCHEA・CIQG2020年次会合に出席  
……………1

### 学位授与事業

短期大学・高等専門学校卒業生等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

学士の学位授与制度及び申請方法等関連の刊行物

- 令和2年度版『新しい学士への途』及び『学位授与申請書類』の発行等  
……………2
- 資料の請求方法  
……………3

令和2年度学士の学位授与申請に係る申請方法、受付期間及び試験日等  
……………4

短期大学の専攻科に係る認定の審査について

- 新たに1校1専攻を認定 -令和2年度-  
……………6

認定専攻科に係る教育の実施状況等の審査について

- 3校6専攻を「適」と判定  
……………6

特例の適用認定を受けた専攻科における教育の実施状況等の審査について

- 14校23専攻を「適」と判定  
……………7

機構認定の教育施設（各省庁大学校）の課程修了者への学位授与関係

認定課程に係る教育の実施状況等の審査について

- 審査対象となった1校2課程を「適」と判定  
……………9

### 質保証連携

諸外国の質保証制度・動向情報の収集・整理・提供

- 新規刊行物のご案内 - スリランカ、ネパールの高等教育・質保証システムの概要  
……………10

### 機構の窓

- 会議の開催状況  
……………11

### 主要行事日程

- Schedule（3月～5月）  
……………12

## TOP NEWS

### ○ 米国のCHEA・CIQG2020年次会合に出席

米国高等教育ア krediteーション協議会（CHEA：Council for Higher Education Accreditation）及びCHEA国際質グループ（CIQG：CHEA International Quality Group）の年次会合が、令和2年1月27日（月）から30日（木）まで米国・ワシントンD.C.で開催され、米国内外の高等教育機関及び質保証機関等から約330名が出席しました。当機構からは山本研究開発部長、蝶助教のほか評価事業部評価支援課及び国際課からそれぞれ1名（計4名）が参加しました。

CHEA年次総会では、メインテーマとなった「次の10年におけるア krediteーションと質保証」のもと、米国の高等教育や適格認定（ア krediteーション）制度について、700万もの職に人手不足が懸念されていることを背景に、産業界が求める人材と大学が育成する人材との間に乖離があることが指摘されました。DeVos教育長官などからは、教育産業における新規参入やイノベティブな取り組みをする機関が興隆する環境を作り出す政策を通じて、この乖離の解消を目指すとの見解が示されました。適格認定については、地域で分割している地域別ア krediteーション機関の管区を取り除くことに伴って、各機関にはアウトカム評価や財務健全性を重視するといった革新的な指標の導入などにより差別化を図ることを求めました。

CIQG年次会合では、人生を左右するものとみなされることのある大学卒業という資格について、社会が求めている職業能力との接続性は無いとの雇用者が考える傍ら、学生は就職に役立つ能力の開発を求めていることから、「資格からスキルへ」という変化が生じていることが指摘されました。そのうえで、質保証枠組が就職に直結すると注目される代替教育資格に対応するにあたって、学びの質やアウトカムへの注目、そして雇用者・社会・学習者の意見を取り入れることによって信頼を生み出す必要があることも言及されました。

また会合では、1997年からCHEAの会長を務めるJudith S. Eaton氏の引退が発表されました。Eaton氏は、同団体の発展や国内外でのプレゼンス拡大を長年にわたり牽引し、令和元年7月には当機構主催の大学質保証フォーラムにも登壇しました（当日の発表資料は[当機構ウェブサイト](#)に掲載）。引退発表にあたっては、高等教育の質保証の促進や機構業務への貢献に対する謝意と引退に対する祝意を山本研究開発部長から伝達しました。

このほか、米国国内外の質保証機関や高等教育機関とのネットワーキングを行い情報交換やパートナーシップの確認を行いました。

※CHEA及びCIQGについて：

CHEAは、米国国内の機関別及び専門ア krediteーション機関を認定し、当該機関の利益を代表する全米規模の民間非営利団体。CIQGは諸外国の高等教育関係機関と質保証の課題に取り組むため、2012年9月にCHEAが設立した組織。



（上）CHEA 年次総会の様子

（下）CIQG 年次会合の様子

## 学位授与事業

### 短期大学・高等専門学校卒業者等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

#### ■学士の学位授与制度及び申請方法等関連の刊行物

##### ○ 令和2年度版『新しい学士への途』及び『学位授与申請書類』の発行等

令和2年度版『新しい学士への途』及び『学位授与申請書類』を発行しました（下記◎印）。このほか、当機構では、学士の学位授与制度及び申請方法等について説明した刊行物を毎年度発行しています。

##### ◎ 新しい学士への途

学士の学位授与について、制度の概要、単位の修得方法、「学修成果」の作成方法、申請の手順などを解説したもの

##### ◎ 学位授与申請書類

学位授与申請書類の記入上の注意と、申請書類の各様式をとじたもの

##### ・ 学士をめざそう！

学士の学位授与について、学位取得者の体験談及び学位取得までの流れなどを簡単に説明したリーフレット

##### ・ 機構が授与する学士の学位

当機構が、日本において、大学以外で唯一学位を授与できる機関であることと、当機構が授与する学位について説明したリーフレット

※ 上記の冊子等（学位授与申請書類の一部を除く。）については、[当機構ウェブサイト](#)においてPDFファイル等を公表しています。

※ 学位授与申請にあたっては、申請する年度版の『新しい学士への途』（冊子または[当機構ウェブサイト](#)）及び『学位授与申請書類』（冊子のみ）をご利用ください。その後、インターネットを利用した「電子申請」を行った上で、証明書等の必要書類を郵送（書留）する必要があります。

特例適用の認定を受けた専攻科修了見込みの者については、手続きが異なるため、別途確認してください。

## ○ 資料の請求方法

(1) テレメール（インターネット・自動音声応答電話）での請求方法

① 以下のいずれかの方法で  テレメールにアクセスしてください。

インターネットの場合 (スマートフォン・ パソコン・携帯電話)	<a href="https://telemail.jp/">https://telemail.jp/</a>	スマートフォン・携帯電話なら、QRコードを読み取るだけでアクセスできます。	
自動音声応答電話の場合	IP電話	<b>050-8601-0101</b>	※一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分毎に約12円です。

② ご希望の資料の資料請求番号を入力してください。

資料名	部数	資料請求番号	料金 (送料含む)
『新しい学士への途』	1部 (※)	488724	250円
『学位授与申請書類』	1部 (※)	488725	270円
『新しい学士への途』および 『学位授与申請書類』	1セット	488726	310円
学士をめざそう！	1部	488727	120円
機構が授与する学士の学位	1部	488728	120円

毎年2～3月頃発行予定です。学位授与申請にあたっては申請する年度のものをご利用ください。

※ 複数セットを請求する場合は、当機構ウェブサイトから請求してください。

③ ガイダンスに従ってお届け先等の登録を行ってください。

請求方法についてのお問い合わせ

テレメールカスタマーセンター 電話 050-8601-0102 (9:30~18:00)

(2) 当機構のウェブサイトからの請求方法

[当機構ウェブサイト](#)から  テレメールを利用して資料請求できます。

## ■令和2年度学士の学位授与申請に係る申請方法、受付期間及び試験日等

### 1 申請方法

申請にあたっては、インターネットを利用した「電子申請」を行った上で、証明書等の必要書類を郵送（書留）する必要があります。電子申請を行うためには、『学位授与申請書類』を必ず冊子で取り寄せなければいけません。

インターネットが利用できるパソコン等をお持ちでない方は、下記のお問合せ先までご連絡ください。

### 2 受付期間

申請時期	受 付 期 間	
4月期申請	○ データ入力	令和2年3月13日(金)～令和2年4月6日(月) (最終日は17時までに送信完了)
	○ 書類送付	令和2年4月1日(水)～令和2年4月7日(火) (最終日は当日消印有効)
	○ 学位審査手数料 払込み	令和2年3月1日(日)～令和2年4月7日(火)
10月期申請	○ データ入力	令和2年9月9日(水)～令和2年10月2日(金) (最終日は17時までに送信完了)
	○ 書類送付	令和2年9月23日(水)～令和2年10月3日(土) (最終日は当日消印有効)
	○ 学位審査手数料 払込み	令和2年9月1日(火)～令和2年10月2日(金)

※学位審査手数料はATMでの払い込みはできませんので、窓口の営業日・営業時間に注意してください。

申請書類等の送付先	〒187-8587 東京都小平市学園西町1-29-1 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構管理部学位審査課
-----------	---

### 3 試験日・試験地区

申請時期	試験の区分	試験地区	試験日
4月期申請	小論文試験 (学修成果としてレポートを提出した者)	東京	令和2年 6月7日(日)
		大阪	
	面接試験 (専攻の区分「音楽」、「美術」、「演劇」のいずれかでレポート以外の学修成果を提出した者)	東京	
10月期申請	小論文試験 (学修成果としてレポートを提出した者)	東京	令和2年 12月13日(日)
		大阪	
	面接試験 (専攻の区分「音楽」、「美術」、「演劇」のいずれかでレポート以外の学修成果を提出した者)	東京	令和2年 12月6日(日)

【お問合せ先】

独立行政法人大学改革支援・学位授与機構  
管理部学位審査課

電話 042-307-1550

FAX 042-307-1555

9:00~12:00 13:00~17:00

(土・日曜、祝日、年末年始を除く。)

## ■短期大学の専攻科に係る認定の審査について

### ○新たに1校1専攻を認定 —令和2年度—

令和元年9月に認定の申出のあった短期大学の専攻科について、専門委員会における教育課程及び教員組織等の審査結果に基づき、令和2年2月21日（金）開催の学位審査会において認定の可否について審査が行われました。審査の結果、1校1専攻を認定（令和2年度から適用）することとなり、機構長から専攻科の設置者に通知しました。

#### 短期大学専攻科（1校1専攻）

名 称	専 攻 名	入 学 定 員	修 業 年 限	設 置 者	適 用 時 期
1 東京歯科大学短期大学	歯科衛生学専攻	10	1	学校法人東京歯科大学	令和2年4月1日

## ■認定専攻科に係る教育の実施状況等の審査について

### ○3校6専攻を「適」と判定

当機構の認定を受けた短期大学及び高等専門学校専攻科は、認定後、原則として5年後に教育の実施状況等の審査を行い、その後は7年ごとに審査を行います。

各専門委員会における教育課程及び教員組織等の審査結果に基づき、令和2年2月21日（金）開催の学位審査会において教育の実施状況等の適否について審査が行われ、短期大学専攻科3校6専攻が「適」と判定され、機構長から専攻科の設置者に通知しました。

#### <令和元年度教育の実施状況等の審査の結果、「適」と判定された専攻科一覧>

#### 短期大学専攻科（3校6専攻）[教員審査（2校2専攻）]

	名 称	専 攻	修 業 年 限	設 置 者
1	青山学院女子短期大学	現代教養専攻	1年	学校法人青山学院
		多元文化専攻	2年	
		子ども学専攻	1年	
2	鶴見大学短期大学部	保育専攻	1年	学校法人総持学園
3	白鳳短期大学	地域看護学専攻	1年	学校法人西大和学園
		助産学専攻	1年	

## ■特例の適用認定を受けた専攻科における教育の実施状況等の審査について

### ○ 14校23専攻を「適」と判定

当機構の特例の適用認定を受けた短期大学・高等専門学校専攻科については、適用認定の結果の通知日の属する年度の次年度の4月1日から、原則として5年以内に教育の実施状況等の審査を行い、その後は5年ごとに審査を行います。

各専門委員会における教育課程及び教員組織等の審査結果に基づき、令和2年2月21日（金）開催の学位審査会において教育の実施状況等の適否について審査が行われ、短期大学専攻科6校6専攻及び高等専門学校専攻科8校17専攻が「適」と判定され、機構長から専攻科の設置者等に通知しました。

### <令和元年度教育の実施状況等の審査の結果、「適」と判定された専攻科一覧>

#### 1 短期大学専攻科（6校6専攻）[教員審査（6校6専攻）]

	名 称	専 攻	修業 年限	設 置 者
1	札幌大谷大学短期大学部	保育専攻	2年	学校法人札幌大谷学園
2	郡山女子大学短期大学部	文化学専攻	2年	学校法人郡山開成学園
3	日本歯科大学東京短期大学	歯科衛生学専攻	1年	学校法人日本歯科大学
4	山梨学院短期大学	保育専攻	2年	学校法人山梨学院
5	頌栄短期大学	保育学専攻	2年	学校法人頌栄保育学院
6	福岡医療短期大学	口腔保健衛生学専攻	1年	学校法人福岡学園

#### 2 高等専門学校専攻科（8校17専攻）[教員審査（8校17専攻）]

	名 称	専 攻	修業 年限	設 置 者
1	群馬工業高等専門学校	生産システム工学専攻	2年	独立行政法人国立高等専門学校機構
		環境工学専攻	2年	
2	木更津工業高等専門学校	機械・電子システム工学専攻	2年	独立行政法人国立高等専門学校機構
		制御・情報システム工学専攻	2年	
		環境建設工学専攻	2年	

	名 称	専 攻	修業 年限	設 置 者
3	東京工業高等専門学校	機械情報システム工学専攻	2年	独立行政法人国立高等専門学校機構
		電気電子工学専攻	2年	
		物質工学専攻	2年	
4	富山高等専門学校	エコデザイン工学専攻	2年	独立行政法人国立高等専門学校機構
		制御情報システム工学専攻	2年	
		国際ビジネス学専攻	2年	
		海事システム工学専攻	2年	
5	沼津工業高等専門学校	総合システム工学専攻	2年	独立行政法人国立高等専門学校機構
6	明石工業高等専門学校	機械・電子システム工学専攻	2年	独立行政法人国立高等専門学校機構
		建築・都市システム工学専攻	2年	
7	沖縄工業高等専門学校	創造システム工学専攻	2年	独立行政法人国立高等専門学校機構
8	サレジオ工業高等専門学校	生産システム工学専攻	2年	学校法人育英学院

## 機構認定の教育施設（各省庁大学校）の課程修了者への学位授与関係

### ■認定課程に係る教育の実施状況等の審査について

#### ○ 審査対象となった1校2課程を「適」と判定

当機構の認定を受けた省庁大学校の課程は、認定後、原則5年ごとに教育の実施状況等についての審査を受けることとされています。

各専門委員会における教育課程及び教員組織等の審査結果に基づき、令和2年2月21日（金）開催の学位審査会において教育の実施状況等の適否について審査が行われ、審査対象となった1校2課程いずれも「適」と判定され、機構長から所管省庁及び各大学校に通知しました。

#### <令和元年度教育の実施状況等の審査の結果、「適」と判定された省庁大学校の課程一覧>

大学の学部に対応する教育を行う課程（1校1課程）

名 称	課 程	入学 定員	修業 年限	所 管 省 庁
1 水産大学校	本科	185	4	水産庁

大学院の修士課程に対応する教育を行う課程（1校1課程）

名 称	課 程	入学 定員	修業 年限	所 管 省 庁
1 水産大学校	水産学研究科	10	2	水産庁

# 質保証連携

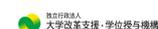
## 諸外国の質保証制度・動向情報の収集・整理・提供

### ○新規刊行物のご案内 — スリランカ、ネパールの高等教育・質保証システムの概要

当機構では、国内外の高等教育質保証の基本的な情報のほか、日本の高等教育機関が質の保証・向上を図るうえで有益な海外の事例を収集し、刊行物等にまとめて広く発信しています。

今回は、日本の高等教育質保証に関する用語や制度の仕組み等を一体として発信するためのツールである「インフォメーション・パッケージ」の新規刊行物として、「スリランカの高等教育・質保証システムの概要」及び「ネパールの高等教育・質保証システムの概要」を令和2年3月に刊行しましたので、ご案内します。

### スリランカの高等教育・質保証システムの概要



スリランカ版では、スリランカの教育制度、高等教育の質保証制度についての情報及びスリランカの資格枠組（SLQF）に基づくスリランカの高等教育資格に関する情報など、高等教育資格の円滑な承認に資する情報を掲載しています。

### ネパールの高等教育・質保証システムの概要



ネパール版では、ネパールの2016年教育法改正前後の教育制度、高等教育の質保証制度についての情報及びネパールの高等教育資格に関する情報など、高等教育資格の円滑な承認に資する情報を掲載しています。

以上の刊行物の電子版は大学改革支援・学位授与機構ウェブサイトのページよりご覧いただけます。

<https://www.niad.ac.jp/consolidation/international/publish/package.html>

## 機構の窓

### ○ 会議の開催状況

- 国立大学教育研究評価委員会

第56回 令和2年2月5日（水） 14時00分～16時00分

議事

- 1 達成状況判定会議、現況分析部会及び研究業績水準判定組織の編成について
- 2 運営小委員会及び意見申立審査会の構成員の選任方針について
- 3 「研究活動状況に関する資料」の取扱いについて
- 4 その他

- 学位審査会

第4回 令和2年2月21日（金） 15時00分～16時30分

議事

- 1 学士及び博士の学位授与の審査の結果について
- 2 学士、修士及び博士の学位授与の審査について
- 3 専攻科に係る認定の審査の結果について
- 4 教育の実施状況等の審査の結果について
- 5 特例適用専攻科の変更の届出に係る審査の結果について
- 6 特例適用専攻科における学修総まとめ科目の実施状況等に関する学位審査会意見について
- 7 その他

## 主要行事日程

### ○ Schedule

3月

日	行事名	担当課
13日～ 4月6日	令和2年度4月期学位授与申請（データ入力）受付期間	学位審査課

4月

日	行事名	担当課
1日～7日	令和2年度4月期学位授与申請（書類送付）受付期間	学位審査課
16日	令和2年度学位審査会専門委員協議会	学位審査課

5月

日	行事名	担当課
15日	<a href="#">学位審査会（令和2年度第1回）</a>	学位審査課

\* 新型コロナウイルス感染症の状況により、上記のスケジュールについて変更、延期などの影響が生じる可能性がありますので、機構ウェブサイトに掲載される最新の情報をご確認ください。



独立行政法人

大学改革支援・学位授与機構

National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education

